



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,289戸
●人口 ……3,855人
男性/1,900人 女性/1,955人
令和6年4月30日現在



シャープな幾何学的造形が目を引く漆黒釉鑄壺

島根県民会館で昨年11月に開催された第56回島根県総合美術展(県展)の県工芸連盟工芸の部で、出東陶芸クラブで有信自治会の古川幸希さん(72)の作品「漆黒釉鑄壺」が、島根工芸連盟賞を見事受賞した。

発想力と裏打ちされた技術力が評価
始めて数年で県展で入賞

Kirari shuttoubito

キラリ
出東びと

出東陶芸クラブ
有信自治会
古川幸希さん(72)

古川さんが本格的に陶芸を始めたのは4年前。友人にコミセンの陶芸サークルに誘われたのがきっかけで、ちょうどコロナ禍の中であって外出する機会が減ったことと、元来モノづくりに熱中する性格も相まって、本格的に創作活動に熱中するようになった。

始めて間もなくの1昨年には県展で新人賞を受賞。その才能が認められることになった。

漆黒釉を使用した作品を主に手掛ける古川さん、今回受賞した漆黒釉鑄壺は、黒色に合ったデザインを考える中でイメージが湧いてきたという。大きさは高さ約25cm、幅23cm程度。大きなものが存在感があり一般的には入選しやすいというが、その一方で技術的には難しいという。古川さんは、このサイズ程度が限界だったといい、製作にあたり苦労した点を聞くと「試作品も含め同様の形のものを3個製作し、仕上がり具合や全体的なバランスなどなかなか満足していく結果とならず試行錯誤した」。

古川さんは、今回審査員の一人からアドバイスを受けたことで、それをヒントに次の高みを目指し着々と構想を練っている。



出東小学校開校150周年記念

今回からシリーズで出東小学校校長を務められた方々に、当時の思い出を語ってもらいます。

〈シリーズ No.1〉



出東小学校での思い出

平成28年から令和2年までの4年の在任中、子どもたちと一緒に地域の素材を使った社会科学習を行いました。3年生での花づくり農家の仕事、4年生での郷土の偉人「植田元確」の業績、6年生での戦時中の学童疎開に関する学習などです。また、30年以上も歌い継がれた出東小の応援歌を作詞・作曲された方たちや、プロ野球の梶谷隆幸選手(当時横浜DeNA、現在読売ジャイアンツ)を招いて学習したことも心に残っています。

校外では、保護者や地域の方たちと大いに語り合いました。PTAでは体育館で映画会をしたりTシャツを作ったり。今考えるとすごいパワーでした。地区民体育会では「出東地区(小学校)〇×クイズ」をやろうということになり、たくさん問題を考えましたが、雨天で体育会そのものが中止になってお蔵入りに。あの〇×問題たちは今どこに？

心優しい出東の子どもたちと地域の方たちとの出会いに、心から感謝しています。

(出雲市立鱒淵小学校校長 松浦和之)



出東小学校は明治7年(1874)の開校より、今年で150周年を迎えます。



3月
9日

土

水産物卸売市場の内部を見学

出東コミュニティセンター専門部研修



コミセン専門部の皆さん30名による合同研修を行いました。全国4位の水揚げ

量(令和4年)を誇る鳥取県境港水産物地方卸売市場では、高度な衛生管理を徹底した市場として2019年より順次整備されたことなどの説明を受けました。当日は時化のためセリの風景を見ることが出来ませんでしたが、本来ならこの時期はベニズワイガニなどの水揚げで活気づいているそうです。

午後からは、22年元旦のNHK番組で、一度は行きたい絶景の城として最強の城に選ばれた米子城址を訪ねました。時代によって組み方が異なる石垣や、VRで再現された天守の姿を体験し、参加した男性は「初めて訪れたが、天守台から望む大山や中海の雄大な景色に息を飲んだ。今後の整備を楽しみにしたい」と話していました。

4月
8日

月

交通安全街頭啓発活動

出雲市交通安全協会出東支部

春の全国交通安全運動にあわせ、県下一斉行動日として街頭指導が実施され、通勤で交通量が増える午前7時からカントリーエレベーター前の県道で、出雲市交通安全協会出東支部のみなさんによる啓発活動が行われました。

当日は各自治会の理事及び代議員のみなさん、警察署員などおよそ50人が沿道に整列し、交通安全運動の横断幕を片手に、ドライバーに対し安全運転を心がけてもらうよう呼びかけました。



4月
20日

土

本年度初の総会を開催

出東地区自治協会



本年度新たに選出された55自治会の会長が参加し、第1回出東地区自治協会総会がコミセンを会場に開催されました。

本年度より新たに自治協会長となった高島俊司さんは「出東地区の人口減少や高齢化率の上昇、それに伴う自治会加入率の低下など諸問題を抱えている現状を、一緒になって考えていきたい」とあいさつ。その後、令和5年度の事業報告や6年度の計画・予算案など説明が行われ、全会一致で承認されました。最後に出東小学校教育後援会などの各団体から本年度会費のお願いがあり、自治会長の方々は納付期限など熱心にメモを取っていました。

5月
11日

土

歴史と自然を満喫、高瀬山ファミリーハイキング

出東地区社会福祉協議会

晴天の空のもと、出雲斐川尼子十旗頭彰会ガイドの宍道年弘さんらと一緒に、大人17名、5歳から小学5年生までの子ども14名で山頂を目指し、およそ50分をかけて登頂。



三の丸(鉄砲立)や甲の丸(大高瀬)、二の丸(小高瀬)など、ところどころで山城の説明を受け、高瀬城に生きた兵の息吹を感じていました。山頂に到着し、おにぎりを美味しく味わう子どもたちに、参加した大人から「頑張った後のおにぎりは美味しいね」と労う声が聞こえていました。

この事業は、出雲市社会福祉協議会の会費及び寄付金、共同募金を財源とした助成金の一部を活用して行われています。

5月
26日

日

梅雨を前に防災研修会を開催

出東地区災害対策委員会

出雲市防災安全課の古川危機対策監による「防災の備え」と題した講演会が開催され、集中豪雨による避難の心構えや対策、ハザードマップで確認しておくことなどの話のほか、地震の備えなどについて説明を受けました。その後、出雲市消防団出東分団による組織再編計画案の説明があり、担い手不足の現状を踏まえたうえで、災害対応力の低下を招かないよう再編を進める予定であると話がありました。

参加した自治会長の一人は、「異常気象や頻発する地震で、災害が身近に起こっても不思議ではない気がする。出来る範囲で備えをしたい」と話していました。



『西光寺』

- 斐川町三分市 527
- 本尊 阿彌陀如来
- 住職 三浦隆心



荘厳な趣の本堂

珪和尚を勧請開山を迎え、西光寺も臨済宗興聖寺派の寺院となった。

元禄7年(1694)、四世相元和尚は、御本尊「阿彌陀如来」を大阪の仏師に依頼して荘厳し開眼した。

鼓音山西光寺の開創は定かではなく、天台宗罽淵寺の末寺として、存在していたが、時代とともに衰退していったものとされている。

のちに京都興聖寺にて修行された天珪周悦和尚が、富田寺を臨済宗の寺として慶安2年(1649)に再興し、その弟子により慶安3年(1650)、天

明治に入ると、小本山は大本山に合併させられたため相国寺派の末寺となった。明治15年(1882)、八世鑑宗和尚により本堂が再建、昭和12年(1937)九世翠翁和尚により庫裡が建設、平成9年(1997)には、本堂及び庫裡を改築再建し、落慶法要が行われた。

境内には、樹齢400年以上の椎の木がある。その昔、現在の砂川が斐伊川であった頃、一里塚のように目印として植えられたものだという。また、松江藩主から本勝部家へ譲られ、宮組の屋号「中島家」で管理お祀りされていた天神様がお祀りされている。



▲かつて斐伊川の流れがあった証を残す椎の木の森

古寺を訪ねて

出東歴史散歩

Vol.9



5月18日 土
えひめAI作りと
コミセン花壇の植替え
自主企画事業/環境部

えひめAI作りとコミセン花壇の植替えが開催され、17名でコミセンの花壇の花やグリーンカーテンの設置、えひめAIづくりに挑戦しました。

快晴の中、マリーゴールドなどの色とりどりの花を植え替え、玄関前の花壇が素敵な景観となりました。

えひめAIとは納豆・ヨーグルト・イースト菌で出来る環境浄化複合微生物のことで、今年は20を製造。霧吹きで葉に吹きかけたり、液肥のように使ったりすることで、おいしい野菜に育つといいます。「他にも様々な用途で利用でき、出東の環境保全につながれば」と環境部長の古川幸希さんは話します。



6月1日 土
美味しく、じょうずに
巻けたかな?!
自主企画事業/高齢者福祉部



子ども7名、大人12名の参加者による恒例の笹巻作りが開催され、今年も笹巻作りの名人、古川勝広さんから餅のこね方やしゃみせん巻のやり方などを学びました。

小さな子どもは餅をこね丸めることに一生懸命で、少し大きな子たちは教わった簡単な巻き方を夢中になって取り組んでいました。大人の参加者も、古川さんの手つきを見よう見まねで、難しいしゃみせん巻を習得していました。

参加者の女性は「今日作った笹巻きを帰って子どもと一緒に食べるのが楽しみ」と嬉しそうに話していました。

「出東地区 民生委員児童委員協議会」



- 会長 山根 猛 (三分市担当)
副会長 中間 敦司 (沖洲担当)
青戸 辰雄 (中洲担当)
福島 清治 (中洲・黒目担当)
錦織 淑子 (黒目担当)
大森 彰 (三分市担当)
飯塚 英真 (三分市担当)
石原 芳江 (坂田担当)
勝部 勝美 (坂田担当)
飯塚 由美 (主任児童委員 全域)
以上、10名で活動を行っています。

民生委員・児童委員とは
「民生委員」は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。社会福祉の増進のために地域住民の立場から、生活や福祉全般に関する相談、援助活動を行っており、創設から今年で100年の歴史を持つ制度です。

出東支部から出東地区に
民生委員は法律によって、ある区域ごとに〇〇地区民生委員児童委員協議会(法定単位民生委員児童委員協議会、略して単民協)を組織することになっています。斐川町では今まで斐川地区民生委員児童委員協議会があって、その下部組織として出東・庄原等6つの支部がありました。今年の4月から各支部がそれぞれ単民協となり、出東は「出東地区民生委員児童委員協議会」となりました。各委員の活動内容には変わりありませんので、今後ともよろしくお願いします。

- 出東地区民生委員児童委員協議会の活動内容
- ・毎月の定例会
 - ・一人暮らしの高齢者宅、障がい者宅、高齢者のみの世帯への定期的な訪問
 - ・小学生の登校時の見守り(毎月第1月曜日)
 - ・小学生の下校時の見守り(見守り隊の協力や自主活動)
 - ・小学校新一年生への家庭訪問
 - ・赤ちゃんサロンの開催(毎月1回)
 - ・社会福祉協議会の福祉員との研修・意見交換
 - ・災害時要支援者援護活動(要支援者名簿の整備)
 - ・小中学校との懇談会
 - ・コミセン高齢者ふれあいサロンのボランティア活動
 - ・出東デイサービスでの生垣剪定、草取り等の奉仕作業
 - ・出東子ども園の園児との交流……など

『あいさつ』で心通い合う出東に
～「出東あいさつリーダー」のたすき贈呈～



出東地区青少年育成協議会会長 植田義久

出東小学校6年生と登校班長に「出東あいさつリーダー」のたすきを贈呈しました。地区青少年育成協議会の委員さんにも同じたすきを着用してもらい、あいさつ運動を地域全体で展開したいと考えています。小学校では地域でのあいさつを課題として挙げられており、そこでこのたすきを贈呈し着用してもらうことで、子どもたちと共にあいさつ運動を推進していきたいと考えました。



以前は遊びを筆頭に子どもの全てが地域でした。『あいさつ』もそんな中、自然に身に付くことがありました。また、以前は生きていくのに人間関係づくりが必要で、『あいさつ』はそうした関係を作るのにmustでした。しかし、今は『あいさつ』や人間関係がなくても生きていける時代、それが良い悪いというよりそういう時代になってきたのです。

しかし、ほとんどの皆さんは『あいさつ』や人間関係はどんな時代になろうと必要であると思われるはず。その想いを出東の地域づくりや将来を担う子どもづくりに一緒になって生かしていきませんか。『あいさつ』で心通い合う出東に、まずは毎週水曜日の「あいさつデー」を意識して取り組んでみてください。

おじゃまします
出東のお仕事拝見!
Vol.9



多くの大型事業に参加し、
技術力と品質には定評

ガス圧接とは、鉄筋の端面同士を突合せ、圧力と加熱で接合する継ぎ手工法で、特に強度に優れているため、鉄筋をつなげて長くしたい場合に使用されるもので、土木・建築業界で欠かせない存在となっている。代表で同社社長の佐藤克志さん(80)は、広島で就労した後、平成元年に会社を立ち上げた。この業種としては山陰で初めてだという。10年前会長職に就き、社長の座を息子の慎也さん(46)に譲った。現在外国人5人を含む11人が社業に携わる。岡山を除く大きいプロジェ

安全な作業環境が
大切と語る佐藤会長



クトに参加。県内では斐伊川放水路分流事業や、高架橋工事など県内の大型事業を一手に引き受けてきた。中でも山陰道の橋梁はほとんど手掛けてきたという。大型事業で一番印象に残る工事は、島根大学医学部を挙げる。仕事面で最も気を付けているのは安全面。さらには「仕事を終えた後で手直しができないよう最大限注意している」と力を込める。「外仕事をする人がいなくて困っています。外国人が来てくれて助かっています」と、人手不足を悩む。



INFORMATION 有限会社サトーガス圧接
●斐川町三分市3352 ●TEL0853-63-4066

出東地区自治協会だより

出東地区自治協会
事務局：出東コミュニティセンター

自治会長あいさつ



出東地区自治協会会長
高島 俊司

日頃より出東地区自治協会には格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度持田幹男前会長の後を引き継ぎ、新たに会長を務めることになりました会所自治会の高島です。

今年は元旦に発生した能登半島地震で一年が始まりました。震度7を記録し家屋の倒壊、火災等大きな災害が発生し、住民の多くが未だ避難生活を余儀なくされています。一方で非常時における安否確認や避難所開設等に地域のコミュニティの大切さをあらためて知ることとなりました。自治協会としても災害対応には最も力を入れなければならないと考えています。逃げ遅れによる孤独死や災害関連死などを防ぐためにも日頃からの地域の交流が不可欠です。自治協会ではその起点となるコミセン活動を支援しています。様々な教室やサークル活動を通して地域の絆を広げてほしいと思います。

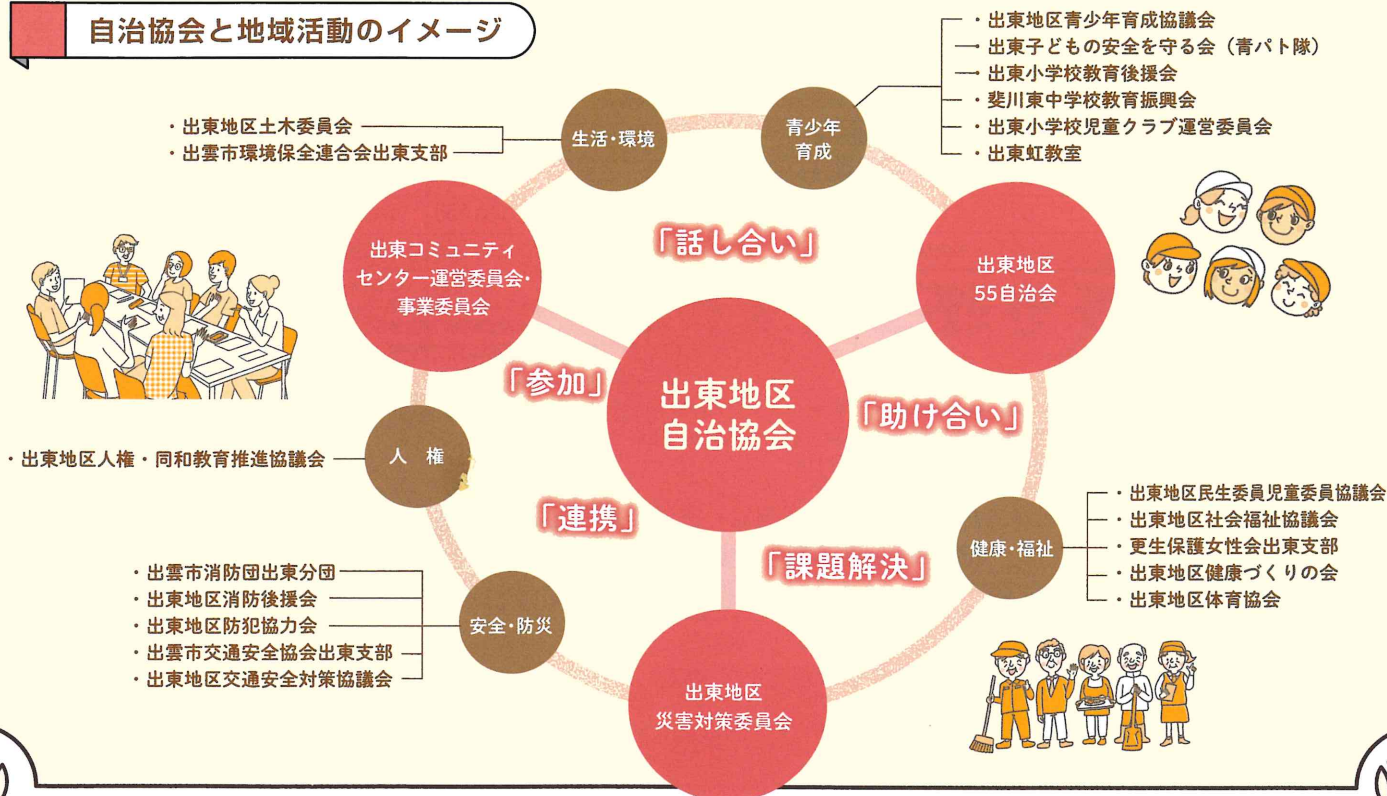
今後も引き続き安心安全なまちづくりに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

自治会のメリット

- ① **交流の機会が増える**：自治会に参加することで、地域の人々と交流する機会が増えます。
- ② **行政への意見を伝えやすくなる**：地域の要望や意見を行政に伝えやすくなります。また協力して問題解決を図ります。
- ③ **災害時の備えとなる可能性**：非常時・災害時の情報連絡や助け合いを通じ、安心感を持つことができます。
- ④ **地域情報を入手できる**：コミュニティセンターのチラシなどを通して、地域のイベントや情報を入手できます。
- ⑤ **安心安全な生活環境**：防犯灯の設置や交通安全の要望、防犯見回り、環境美化などの活動から、安心安全な地域をつくります。

自治会にはこれらのメリットがある一方で、会費や役員を選出するなどの負担も発生します。メリットやデメリットには皆様方それぞれお考えがあるとは思いますが、出東地区自治協会では自治会の皆様や地域の諸団体と連携し、誰もが明るく暮らせる地区を作るために必要な組織であると考えています。自治会や自治協会の在り方について、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

自治協会と地域活動のイメージ



令和6年度 出東地区自治協会役員

会長	高島 俊司	副会長	三島富美夫	副会長	井上美和子	副会長	永瀬 聡
理事	福間 清巳	理事	高根 康友	理事	高木 順子	理事	持田 裕二
理事	池田 千寿	理事	廬原 建志	理事	小村 司	理事	錦織 みやこ
理事	飯塚 寛造	理事	曾田 克之	監事	吉村 幸治	監事	古道美喜子
事務局長	竹下 弘	事務局次長	大森 有紀	事務局員	高木日那子・大菅那桜		

令和5年度 出東地区自治協会決算

【収入】

(単位 円)

費目	予算額	決算額	増減	備考
自治協会費	1,179,100	1,172,600	△ 6,500	1,300円×902世帯
行政連絡業務委託料	15,000	77,500	62,500	出雲市より、要支援者名簿作成給付金
繰越金	1,360,942	1,360,942	0	前年度より
繰入金	0	0	0	
雑収入	4,958	62,048	57,090	貯金利息、納涼まつりR1年度繰越金60,770円繰入
合計	2,560,000	2,673,090	113,090	

【支出】

費目	予算額	決算額	増減	備考
事務費	50,000	38,356	△ 11,644	郵券代、コピー代他
会議費	30,000	15,680	△ 14,320	総会・理事会お茶代他
コミュニティセンター運営協力金	650,000	650,000	0	コミセン活動助成、テント代、文化祭、たなばた会他
事業費	860,000	473,429	△ 386,571	
事業費内訳				
出東春まつり(防災フェア)	500,000	228,856	△ 271,144	
研修費	50,000	0	△ 50,000	
指定事業協力金	100,000	100,000	0	出東地区人権・同和教育研究指定事業
やくも教育講演会協力金	35,000	35,000	0	
活動費	175,000	109,573	△ 65,427	健康づくりの会15,000、環境保全10,000、防犯協30,000、担い手44,275他
環境整備費	30,000	0	△ 30,000	コミセン広場芝生管理除草剤
負担金	25,000	40,000	15,000	斐川地域自治協会連合会
積立金	100,000	100,000	0	積立金通帳へ
手数料	5,000	3,025	△ 1,975	会費納入手数料
雑費	10,000	0	△ 10,000	
予備費	800,000	0	△ 800,000	
合計	2,560,000	1,320,490	△ 1,239,510	

令和6年度 出東地区自治協会予算

【収入】

(単位 円)

費目	6年度予算額	5年度予算額	増減	備考
自治協会費	1,170,000	1,179,100	△ 9,100	@1,300円×900世帯
行政連絡業務委託料	45,000	15,000	30,000	出雲市より(業務執行費30,000、行政連絡15,000)
繰越金	1,352,600	1,360,942	△ 8,342	前年度より
繰入金	0	0	0	
雑収入	2,400	4,958	△ 2,558	貯金利息等
合計	2,570,000	2,560,000	10,000	

【支出】

費目	6年度予算額	5年度予算額	増減	備考
事務費	50,000	50,000	0	はがき代、コピー代他
会議費	30,000	30,000	0	茶菓代
コミュニティセンター運営助成金	710,000	650,000	60,000	コミセン活動助成、文化祭、自主企画事業地区負担金他
事業費	550,000	860,000	△ 310,000	
事業費内訳				
出東春まつり(防災フェア)	0	500,000	△ 500,000	
研修費	100,000	50,000	50,000	災害対策委員会、環境保全連合会
指定事業協力金	0	100,000	△ 100,000	
やくも教育講演会協力金	0	35,000	△ 35,000	
出たなばた祭り	200,000	0	200,000	
活動費	250,000	175,000	75,000	健康づくりの会、環境保全連合会・防犯協助力会助成、青少年協、広報紙、新成人担い手事業、文化祭展示他
環境整備費	0	30,000	△ 30,000	
負担金	40,000	25,000	15,000	斐川地域自治協会連合会負担金 出雲市自治協会連合会負担金他
旅費	10,000	0	10,000	
積立金	100,000	100,000	0	
手数料	5,000	5,000	0	会費納入手数料他
雑費	10,000	10,000	0	
予備費	1,065,000	800,000	265,000	
合計	2,570,000	2,560,000	10,000	

※令和6・7年度も、暫定的に自治協会費を1,300円に減額据え置きとしますが、令和8年度以降は会計その他状況を見据えながら決定します。

香典返し寄付金について

出東地区自治協会では、皆様方からいただいた香典返し寄付金を特別会計として、出東地区社会福祉協議会へ配分し福祉事業に役立てていただいているほか、地域活動の支援などに活用させていただいています。

令和5年度は、**613,341円**のご寄付をいただき、地区社協400,000円をはじめ800,918円を助成しました。

また、令和4年度からは4,078,764円を繰越金として歳入し、6年度へは3,891,220円を繰越しました。皆様方のご厚志、誠に有難うございます。



街頭防犯カメラを設置

出東地区防犯協力会



出東小学校北館西側壁面に街頭防犯カメラが設置され、4月1日より稼働しています。設置にあたっては、出雲地区防犯協会の設置要望を受け、出東地区防犯協力会が申請を出していたもので、出東小学校や市教育委員会の協力で設置されたものです。

出東郵便局側に往来する車両や出東こども園の駐車場に出入りする車両など、周辺の交通量が多いことや、通学路として県道を利用する小中高生の安全と防犯を目的としています。周辺の方々のご理解をお願いします。



標語入り案山子の掲出で 石原さん表彰

出雲地区防犯ボランティア連合会/出雲地区防犯協会



石原久夫さん(農友)は、出東小学校の通学児童の通学路における交通事故や犯罪被害を防止しようと、平成22年頃から県道184号沿いにある自身の田んぼ(営農管理)の畔に、交通事故や犯罪被害防止の標語入りの「たすき」を掛けた手作りの「案山子」5~6体を製作して常時掲出。今回、この交通事故防止と犯罪被害防止の広報啓発の功績が認められ「出雲市犯罪のない安全で安心なまちづくり表彰」を受賞されました。今後のますますのご活躍を期待します。おめでとうございます。



7月 出東地区 行事予定

- 4日(木) 虹教室(3年生) / ふれあいサロン(1班)
- 9日(火) 宍道湖西岸堤防改修促進期成同盟会総会
- 10日(水) 虹教室(1・5・6年生)
- 18日(木) コミセン喫茶 / 斐川東中学校終業式
- 19日(金) 文書配布 / 出東小学校終業式
- 23日(火) 自治協会第2回理事会
夏休みこども企画1「読書感想文を書こう」
- 24日(水) ふれあいサロン(2班)
- 26日(金) スマートフォン教室
- 30日(火) 夏休みこども企画2
「オリジナルかぼちゃを作ってみよう」



※3日・10日・17日、毎週水曜日は「あいさつデー」

ハンドベルサークル ミモザ

全員が協力し1曲を演奏する喜び

鮮やかな黄色の花を咲かせ女性の社会でのあり方を象徴し、国際女性デーの象徴ともなっているミモザ。1年前ハンドベルの会から名称をミモザに変更し、気持ちも新たにメンバー6名で練習に励んでいます。ハンドベルは自分が曲の一部になれる楽しさや、協力して演奏する喜びを体感できる素晴らしい楽器です。美しく優しい音色も魅力。活動は文化祭での発表や子育て支援のクリスマス会などで演奏を行っています。練習は毎月第1月曜日と第3火曜日の午後1時半~3時まで。音楽に興味がある方、ぜひ一緒にハンドベルを奏でませんか。



サークルさん ++
いらっしや~い ++

待ってま~す!



INFORMATION

異動のごあいさつ

ありがとうございました。

武田 明子

この人事交流を通して、地域の皆様には大変よくしていただき、充実した楽しい2年間を過ごすことができました。ありがとうございました。
また、日ごとと変化する出東の美しい景観に触れることができ、出東の新しい一面を見ることができたように思います。この交流で知り得た知識や経験は、今後、今市地区において活かしていきたいと思っております。

よろしくをお願いします。

高木 日那子

5月末をもって塩冶コミセンでの人事交流を終え、出東コミセンに戻るようになりました。
この2年間で塩冶地区の歴史や文化、そして出雲市内でも少しずつ異なる地域の課題に触れることができました。これからもより良い地域づくりをめざしていきたいです。出東地区の皆様、どうぞよろしくをお願いします!

義援金のお礼



能登半島地震の犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。出東コミュニティセンターでは、被災された方々を支援し、被災地域の復興を支援するため、義援金の募集を行ってまいりましたが、2月29日で受付を終了させていただきました。お寄せいただきました義援金は、山陰中央新報社会福祉事業団を通じ1月17日に31,500円を、3月7日6,912円を日本赤十字社に寄託しました。皆様のご支援ありがとうございました。

草刈り作業のお礼

5月23日、コミセンで活動しているらっしゃるカラーリングクラブ、そば打ち同好会、陶芸クラブの皆さん17人で、コミセン敷地内の草刈りを行っていただきました。ありがとうございました。



ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じて地域の福祉事業に活用させていただいております。

- 香典返し 金一封 曾田 貴代子 様(坂田大沢)
- 香典返し 金一封 周藤 ひな子 様(醇厚)
- 香典返し 金一封 松崎 俊一 様(沖洲前島)

ご厚志誠にありがとうございました。